

横浜キネマ倶楽部 第87回上映会 1985年/スウェーデン/102分/ブルーレイ上映

ラッセ・ハルstrom監督作品

MITT LIV SOM HUND

マイライフ アズ・ア・ドッグ

1988年
ゴールデン・グローブ賞最優秀外国語映画賞

女の子になりたくない女の子、サガにまた会える！
「スタンド・バイ・ミー」にならぶ、思春期映画の名作。

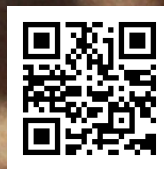
2月14日(土)

13:00開場/13:30上映

【1回のみ上映】

[交流会]15:15~15:55

「チケットぴあ」から
入場券が購入できます
購入は2月13日(金)迄となります
(Pコード:555-636)
「セブン-イレブン」でチケット購入可能



横浜市南公会堂(席数400席)
(南区総合庁舎内3階)

©1985 AB Svensk Filmindustri Still Photographer: Denise Grünstein

後援：横浜市教育委員会

【最寄駅】
市営地下鉄「阪東橋」駅 徒歩約8分
京浜急行「黄金町」駅 徒歩約14分

【最寄バス停】
浦舟町 市営・京急バス 徒歩約3分

【入場料】前売:1,000円 当日:1,300円 障がい者:1,000円 介助者1名無料

【主催・問合せ】 ☎080-2554-8023(10時~18時)横浜キネマ倶楽部

【プレイガイド】有隣堂伊勢佐木町本店 ☎045-261-1231/高橋書店(元町) ☎045-664-7371

いづみ書房 ☎045-241-1104/シネマ・ジャック&ベティ(黄金町) ☎045-243-9800

横浜シネマリン(長者町) ☎045-341-3180/岩間市民プラザ(天王町) ☎045-337-0011

【チケットぴあ】(Pコード:555-636)「セブン-イレブン」でチケットの発券ができます。



■世界各国で、全米で大ヒット!

主人公イングマルと美少年(「サガを、果実のようになうといういい存在で演じたアントン少年とメリンダは、この映画の驚異的な大ヒットで、スウェーデンではもちろんのこと、アメリカをはじめ世界各国でいちやく人気者になった。



監督ラッセ・ハルストレムはこの作品が長篇第6作で、「アバ・ザ・ムービー」などスウェーデンで若者の支持が最も高い期待の若手。原作者イェンソンも加わったチームによるこの映画の脚色は名脚本とつたわれ、名優たちと映画初出演の素人を混成したキャスト、撮影の名手ペルションをはじめ最高のスタッフをえて、ゆたかなユーモアと繊細な演出で、思い出を心の底からゆさぶる名篇を生み出した。



■こんなに人なつっこい映画、さらっとしていなながら見た後に何度も楽しく心に帰ってくる映画は、探してもめったにはない。「マイライフ・アズ・ア・ドッグ」(犬のような僕の人生、スウェーデン語原題も同じ意味の「ミット・リブ・ソム・フントン」という原作題名邦訳は木村由利子訳・世界文化社刊)を、映画としてこれほど地味で損なタイトルはないのに、監督ラッセ・ハルストレムがそのまま映画の題名にしたのは、地味でも大事なものであるという思いと、見れば心の底から楽しんでもらえる映画にできるという自信があったからこそだろう。

人工衛星が史上はじめて飛び、人のかわりに一匹のライカ犬が宇宙に飛ばされた1950年代の終りの頃の「スウェーデン」。

■完成して間もなく公開されたスウェーデンでの1986年のスウェーデン映画批評家協会最優秀作品賞の受賞をはじめ、「マイライフ・アズ・ア・ドッグ」は、1987年にシアトル国際映画祭で最優秀作品賞と監督賞、ボストンでも映画批評家協会による最優秀外国語映画賞を受賞し、1988年には、ニューヨーク映画批評家協会とゴールデン・グローブ賞で最優秀外国語映画賞を受賞し、さらにアカデミー賞では外国語映画部門ではなく最優秀監督賞と脚色賞にノミネートされ、秋にはイタリアで名脚本家セルジョ・アミデイの名を冠した賞を受賞するなど、世界各国で暖い拍手と賞賛の嵐につつまれている。

●デリケートでありながらおかしさがいっぱい。痛切で、輝かしい電話。アメリカ「ヴォイス」紙。●★★★★★愛と性のためと死と、人生を語る賢明でシンプルな天才的な映画。アメリカ「ニューズデザイン」紙。●すばらしい!おかしく、痛ましく、甘くてほろ苦いクロニクル。めったにない思春期映画。アメリカ「ニューズウィーク」誌。

■ストーリー

あのライカ犬にくらべれば、どんな事が起っても自分は幸せだと考える12歳の少年イングマルのマイライフ。

こんな話も元氣な頃のママにすれば、ママは笑って喜んで聞いてくれただろうにと回想するイングマルのマイライフに登場するのは、ママが病気になるためだけにひとりで汽車に乗ってガラス工場のある田舎に行った夏、ママとの最後の別れのために都会に戻り、その後ふたたび汽車で雪の中を田舎に戻る旅をした冬、悲しい事件の連続なのにとこまでも明るく楽しい人々ばかりだ。

山奥のガラス工場のスモーランドの村で、子供たちとサッカー・チームをつくらせているグネル叔父さんや、寝たきりなのに女性の下着雑誌にダイナミックに興奮するアルビドソンさんや、村いちばんの屋根をいつも修理しているフランソンさん。なかでもイングマルがびっくりしたのは、サッカーもボクシングもうまいガキ大将のサガとの出会いだったが、イングマルの心からは、町にいてきた愛犬シッカンのことが離れない……。

■ラッセ・ハルストレム監督作品■

マイライフ アズ・ア・ドッグ



＜これまでの上映作品＞美しい夏キリシマ/パッチギ!/カーテンコール/二人日和/ゆれる/トリノ、24時からの恋人たち/長い散歩/天空の草原のナンサ/イノセント・ボイス-12歳の戦場-/モーターサイクル・ダイアリーズ/恋するトマト/シッコ/歓喜の歌/赤い風船・白い馬/三本木農業高校、馬術部/ラストゲーム~最後の早慶戦/マリア・カラスの真実/ディア・ドクター/扉をたたく人/縞模様のパジャマの少年/春との旅/小さな村の小さなダンサー/冬の小鳥/ホームカミング/ミツパチの羽音と地球の回転/デザートフラワー/ハーモニー心をつなぐ歌/ドーバーばばら織姫たちの挑戦/エンディングノート/旅芸人の記録/トガニ/月世界旅行・メリエスの素晴らしき映画魔術/かぞくのくに/警察日記/名もなく貧しく美しく/よみがえりのレシピ/きっと、うまくいく/日本の悲劇/ペコロスの母に会いに行く/息子/ハンナ・アーレント/標的の村/救いたい/野のななののか/ぼくたちの家族/NO(ノー)/春よこい/野火/手のひらを太陽に/袴田巖夢の間の世の中/父を探して/お盆の弟/祖谷物語-おくのひと-/東京ウィンドオーケストラ/ふるさと/どっこい!人間節寿・自由労働者の街/孤獨の人/喜劇大風呂敷/神宮希林わたしの神様/寿ドヤ街生きる/寿ドヤ街生きる2/日曜日の子供たち/1999年の夏休み/風のある道/アダムズ・アップル/十階のモスキート/約東名張毒ぶどう酒事件死刑囚の生涯/夢は夜ひらく/我が人生最悪の時/喜劇・いじわるの大障害/喜劇女もつらいわ/木靴の樹/赤いハンカチ/裸の島/スモーク/みんなの学校/泥の河/帰らざる波止場/帰郷/風船/マタギ/ニッポン国古屋敷村/甲子園フィールド・オブ・ドリームス/鞍馬天狗大江戸異変/パブリック図書館の奇跡/絵の中のぼくの村/フジコ・ヘミングの時間/さくら隊散る/真昼の暗黒/コーラス/